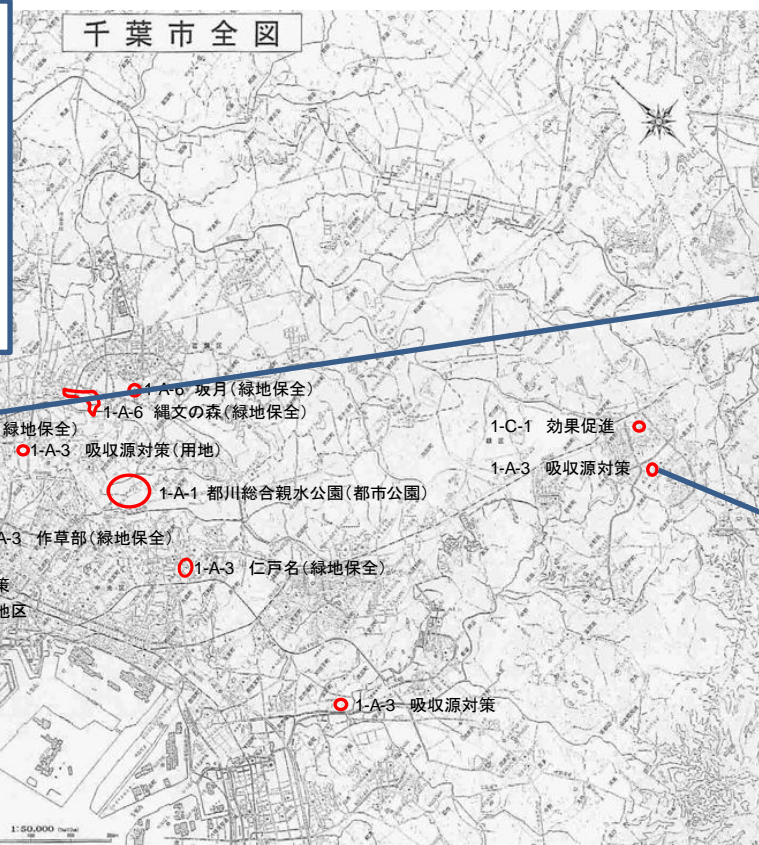


千葉市緑地保全及び公園等整備事業【事後評価】

平成28年3月

計画期間	平成22年～平成26年	交付対象事業費	1,014,498千円	うち国費	379,497千円
計画の目標		定量的指標	目標値	評価値	達成度
本市では、「千葉市緑と水辺の基本計画」(計画期間 平成14年度～平成23年度)及び「千葉市緑と水辺のまちづくりプラン」(計画期間 平成24年度～平成33年度)に基づき、豊かな緑と水辺を次世代へつなぐべく、その保全、ネットワークの構築、さらなる魅力向上に努めております。 ・都市公園事業では、緑と水辺の拠点となる総合公園の整備を行います。 ・緑地保全等事業では、特別緑地保全地区内の失われつつある優れた自然環境及び歴史文化的意義を有する緑地の保全を図ります。		一人あたりの緑地環境整備面積	9.18㎡/人	9.40㎡/人	○
		歩いていける身近なみどりのネットワーク率	79.46%	90.79%	○



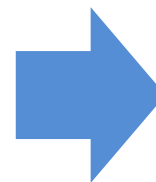
今後の方針	次期社会資本整備計画(計画期間H27～H31)においても、引き続き「千葉市緑と水辺のまちづくりプラン」(計画期間 平成24年度～平成33年度)に基づき、豊かな緑と水辺を次代へと引き継ぐため、緑地の保全や、公園・水辺空間の整備を進めてまいります。 具体的には、従前からの特別緑地保全地区の土地の買入れや、小規模な公園緑地の整備だけでなく、大規模な公園の再整備にも取り組んでまいります。
-------	--

事業効果の発現状況(一部事例)



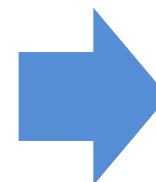
《都市公園事業》
(例)花島公園整備

花島公園は、花見川区におけるレクリエーションの中心となる緑と水辺の拠点機能を有した公園として整備している。計画期間中は、未整備区域(緑園ゾーン)の実施設計及び施設整備を実施した。



《吸収源対策公園緑地事業》
(例)あすみが丘東5丁目荻生公園整備

平成24年より周辺の方々との意見交換会を実施し、公園計画(案)を作成。補助事業としては、平成25年度それらを踏まえ設計、施設整備を実施した。



《緑地保全事業》
(例)坂月特別緑地保全地区

千城台団地の住宅地に隣接する樹林地の一部(赤枠取り部分)買入を行い、周辺と一体でまとまった緑を保全。取得区域を含めた一体は、市民の森として休養散策、自然観察などに利用されている。

要素事業の進捗状況

事業名・箇所名	進捗状況	備考(計画が達成できなかった場合の理由)
都市公園事業(都川総合親水公園)	○	用地取得(1.2ha)
都市公園事業(花島公園)	○	施設整備(1.7ha)
千葉市吸収源対策公園緑地事業	○	施設整備5箇所 (中西町公園、黒砂台A公園、あすみが丘東5丁目荻生公園、黒砂D公園、黒砂F公園) 用地取得1箇所(貝塚第1緑地)、一部公園の実施設計も含む
検見川地区緑化重点地区整備事業	○	施設整備1箇所(検見川稲毛6号公園)
稲毛区西部地区緑化重点地区整備事業	○	施設整備1箇所(黒砂E公園) 一部公園の実施設計も含む
千葉市緑地保全等事業	○	土地の買入れ5箇所(縄文の森、作草部、坂月、源、仁戸名)

達成状況

- 計画していた事業量(又は供用)が達成できた
- △ 事業は進捗しているが、計画事業量には達しなかった
- × 事業着手ができなかった